

日本スポーツ雪合戦選手会活動報告 2021年4月～2022年3月末

【2021年度の活動報告】

2020年以降、実質全国規模の大会を含め中止が相次ぎ雪合戦自体が停滞した時代となりました。

組織的分裂の中でのこともあり、普及含めてすべてが停止に近い状況が続いており雪合戦の危機とも言える時代です。

そんな中での選手会活動としてクラウドファンディングにより普及用の小冊子を制作しました。選手会の監修として地区代表の意見など取り入れています。これは選手会チーム代表へ発送し、今後も当面、全国での活用の要望に応えることが可能です。

活用事例としては、選手会メンバーに委託したかたちですが、●札幌ではタイミングよく、小学校での雪合戦授業に教材として活用することができました。●また3月に実施できた小学生雪合戦大会でも参加チームへ配布したほか、●市内の30箇所ある道体協関連の公共施設へ3,000部ほど設置しています。

そのほか、●大学での活動を継続し、毎年、雪合戦人を輩出している室蘭工大雪合戦部と早稲田雪合戦の会へは新入部員勧誘用に提供しています。

また室工大雪合戦部では、代表を引き継ぐ形で選手会メンバーとして登録もいただきました。

●地域の活動を継続している岩手釜石、岡山浅口のスポーツクラブへは希望数を提供しています。

今後の理想としては、選手経験者による、こどもから大人まで体験～普及という活動が可能であることですが、なかなか通年の活動は用具や場所など難しい現実もあるため、スポーツチームへの勧誘など可能な範囲での普及をお願いしたいところです。

【選手会設立経緯からの 今後について】

連盟組織が分裂後、10年近くあゆみよりが見られないなかで、2017年に選手有志で立ち上げたのが日本スポーツ雪合戦選手会です。

このコロナ禍の中での停滞で大会開催も活動も停滞している中で、逆にリセットできる機会とも、とらえています。

●当初の声明文の意思表明を引き続き継承し、組織の一本化とルールの一統を要望していきます。

●各連盟、チームを通じて、練習情報など雪合戦に関わる情報を全国のチームが共有していけるように発信していきます。

●現在、入会しているチーム数は66チーム71名（希望によりチーム2名まで登録）

うち、発起人メンバーは20名です。

北海道、東北、関東、中部、西日本の5つのエリアにわけ、地区の代表1名を兼ねています。

入会希望チームの勧誘もよろしくお願いします。



QRコード 【選手会ホームページ】
全国の主要大会、連盟、チームのサイトへ
リンクしています。

選手会

クラウドファンディングによる活動支援

★普及ツールの制作

国際連合加盟団体所属チーム

日連加盟団体所属チーム

連盟に所属しない地域のチーム

★設立時発起人21名

- 北海道エリア / 22チーム
- 東北エリア / 13チーム
- 関東エリア / 9チーム
- 中部エリア / 4チーム
- 西日本エリア / 18チーム

★各地区代表1名

【設立目的】
規約約款記載
・雪合戦の普及
・組織の一本化要請

ツールを活用してチームにできる普及活動

【できることをシンプルに】

- ・誰かに渡す。
- ・チームのメンバー勧誘でも良い
- ・地域のスポーツ施設に置かせてもらう。
- ・取引先営業ついでに配布。
- ・草野球の相手チームにそと渡す。
- ・子どもの野球の試合の時にわたす。
- ・子どもの学校へ体験勧誘 などなど。

【反応があったら】

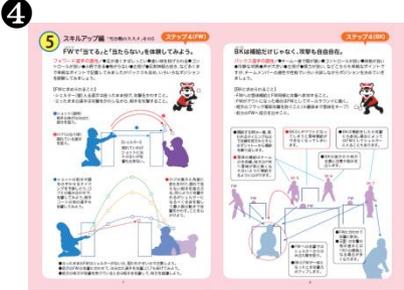
- 練習の機会に体験を勧誘する。雪合戦を好きになってもらう
- 出来れば、体験会を開く

● ツールを配布PRできる雪合戦人

今回、制作した「雪合戦のススメ」小冊子は、スポーツ雪合戦選手会の普及活動として企画しています。二つの組織のルールの違いに左右されない内容にして、マガジン編集部が案を制作し監修チェックは選手会のメンバーに公開して実施しました。クラウドファンディングにより、A5×12ページの小冊子を1万部を印刷しています。



● 雪合戦の概要、用具など紹介



● さらにスキルアップ解説



● 初心者向けのイラスト入り簡単ルール



● 大会への勧誘/全国大会情報



● ゲーム体験後のポイントアドバイス



● A5×12P小冊子

● QRコード
選手会ホームページ
全国の関連団体へリンク